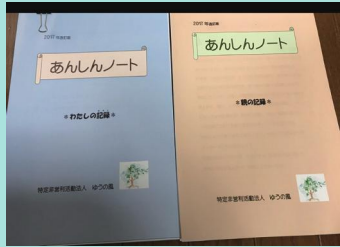
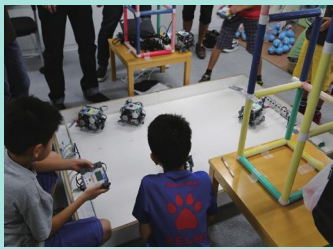


未来を拓く 挑戦者たち 11



◆記事掲載団体◆

- 1.(特非) 湘南 DV サポートセンター
- 2.NPO 法人かながわ311ネットワーク
- 3.(特非) ぐるーぷ麦
- 4.(特非) かながわ避難者と共にあゆむ会
- 5.(特非) まなの樹
- 6.(特非) ABC ジャパン
- 7.(特非) ロボロボ・Club
- 8.NPO 法人子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ
9. すかっ子セミナー実行委員会
- 10.(特非) ゆうの風
11. 善行雑学大学
- 12.(特非) バーンロムサイジャパン
- 13.(特非) WE 21 ジャパン
14. 関内イノベーションイニシアティブ(株)



「かながわボランティアフェスタ2017」の様子

はじめに

本冊子は、平成28年度をもって交付が終了したかながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金、ボランティア活動補助金の事業実施団体、及び平成28年度ボランティア団体成長支援事業の受託団体を実施した事業の成果、並びに、平成28年度のボランティア活動奨励賞受賞団体の活動を、多くの方々に知っていただき、ボランティア活動の一層の推進と基金21に対する理解を深めていただくことを目的に作成しました。

事業終了団体の活動内容と成果につきましては、平成29年11月12日に行われました「かながわボランティアフェスタ2017」における成果報告会で各団体に発表していただいた内容を中心にまとめています。

本冊子を手にとった皆様に、少しでも基金21事業やボランティア団体の活動について知っていただき、興味を持っていただけたら幸いです。

かながわボランティア活動推進基金 21 とは

21 世紀を迎え、地域や社会の課題が複雑・多様化する中であって、ボランティア団体等が果たす役割は極めて重要になってきています。そこで、県は、公益を目的とする事業に自主的に取り組むボランティア団体等の活動を促進するため、平成 13 年（2001 年）3 月に、総額 100 億円のかながわボランティア活動推進基金 21 を設置しました。

この基金の運用益を活用し、ボランティア活動の支援を目的とした次の 4 つの事業を行っています。

■協働事業負担金

地域や社会にとって必要な公益的事業で、ボランティア団体等と県とが対等な立場でパートナーシップを組んで行えば一層の効果が期待できると考えられる事業を対象に、基金からその事業に要する経費に対し応分の負担をします。

○ 年間 1,000 万円を上限に、最長 5 年間（年度ごとの審査あり）、負担金を交付します。

■ボランティア活動補助金

地域や社会のニーズをとらえて自発的に取り組む事業や、社会システムの改革を目指してチャレンジする事業などで、新たに立ち上げたり、展開したりする事業を対象に、基金からその事業に要する経費を補助します。

○ 事業に要する経費の 2 分の 1 以内の金額で、年間 200 万円を上限に、最長 3 年間、補助金を交付します。

■ボランティア活動奨励賞

地域や社会への貢献度が高く、他のボランティア団体等の活動のモデルとなり、今後さらに継続発展が期待できる活動に取り組むボランティア団体等を表彰します。

○ 知事表彰状及び副賞（上限 30 万円）を贈呈します。

■ボランティア団体成長支援事業

ボランティア団体が自立的かつ安定的に活動できるよう、県が中間支援組織等にその支援を委託して実施する事業です。

○ 事業受託者は、県と業務委託契約を結び、自らの企画提案に沿ってボランティア団体を支援する事業を実施します。

対象事業は、「神奈川県ボランティア活動推進基金審査会」で選考され、その答申を受けて知事が決定します。

なお、審査会における対象事業の選考は、審査会のもとに置く「神奈川県ボランティア活動推進基金幹事会」による事前調査の結果報告や、公開で行うプレゼンテーションの内容、質疑応答等により、総合的に審査されます。

詳しくは、

基金 2 1

検索

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5258/>

◆◆かながわボランティア活動推進基金 21 では、県民の皆様からの寄付を募っています◆◆

寄付のお申込等、詳しくはホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/md5/cnt/f7763/p491931.html>)

寄付に関するお問い合わせ：神奈川県 NPO 協働推進課 電話 (045)210-3703

目次

かながわボランティア活動推進基金 21 とは . . . p. 2

協働事業負担金

01 地域と学校によるいじめ防止推進事業 . . . p. 5
特定非営利活動法人 湘南 DV サポートセンター

02 児童・生徒の防災教育推進事業 . . . p. 7
NPO 法人 かながわ 3 1 1 ネットワーク

03 若年性認知症専門支援モデル構築事業 . . . p. 9
特定非営利活動法人 ぐるーぷ麦

04 県内避難者との協働による支援ネットワーク構築事業 . . . p.11
特定非営利活動法人 かながわ避難者と共にあゆむ会

ボランティア活動補助金

05 発達障がい児に関わる教科学習教材データベース化事業 . . . p.13
特定非営利活動法人 まなの樹

06 外国につながる子ども・若者の教育機会の保障のためのプロジェクト . . . p.15
特定非営利活動法人 ABC ジャパン

07 小中学生向け ロボット・プログラミング教室事業 . . . p.17
特定非営利活動法人 ロボロボ・Club

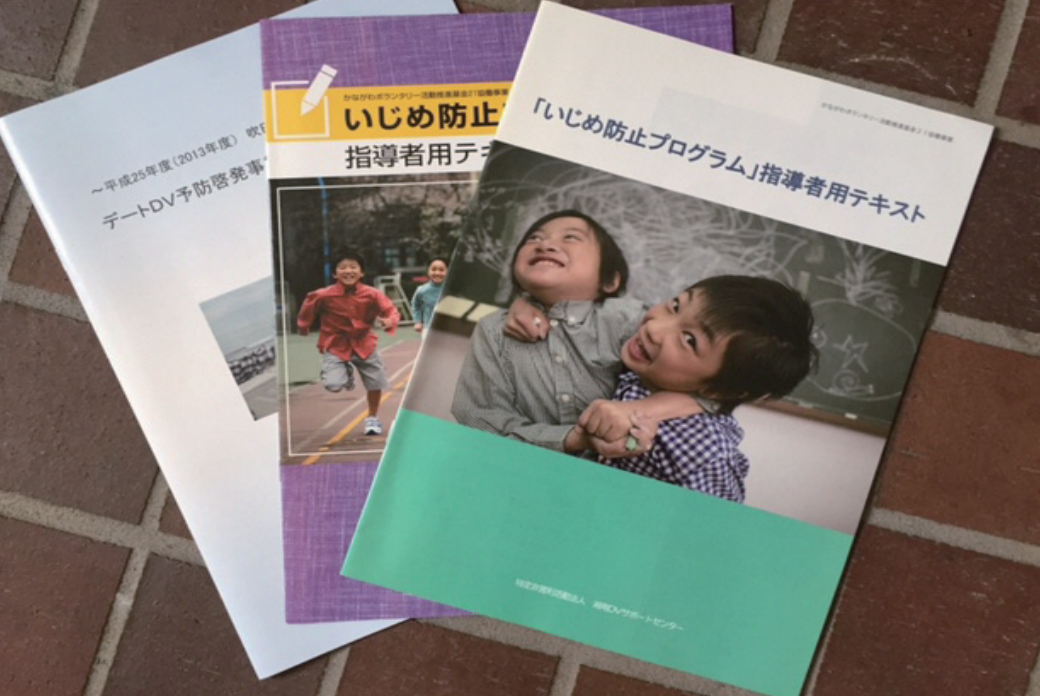
08 子どもの権利に関する小冊子作成事業 . . . p.19
NPO 法人 子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ

ボランティア活動奨励賞

- 09** すかっ子セミナー実行委員会 …… p.21
市内で活動する様々な市民団体による小中学生向け地域活動体験講座の開催
- 10** 特定非営利活動法人 ゆうの風 …… p.22
障害児者とその家族が安心して暮らせるための支援活動
- 11** 善行雑学大学 …… p.23
市民のための生涯学習講座の運営
- 12** 特定非営利活動法人 バーンロムサイジャパン …… p.24
タイの孤児たちのための生活・自立支援、タイ北部の恵まれない環境にある人たちの支援
- 13** 特定非営利活動法人 WE 2 1 ジャパン …… p.25
フェアトレード商品の販売による国を超えた市民同士の協力関係の構築と理解促進、
県内38法人によるリサイクル事業
- 成果報告会の様子 - Gallery - …… p.26

ボランティア団体成長支援事業

- 14** NPO 支援機関の専門力強化および、
NPO と支援機関のマッチングによる中長期計画策定支援 …… p.27
関内イノベーションイニシアティブ株式会社
- 総評** 神奈川県ボランティア活動推進基金審査会 …… p.29
会長 長坂 寿久
- これまでの基金 21 対象事業・団体等一覧 …… p.30



地域と学校によるいじめ防止推進事業

特定非営利活動法人 湘南 DV サポートセンター

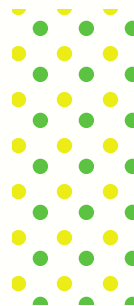
いじめは“0”にはならないのか

POINT

子どもは、安心で、健康で、幸せに生きる権利があり、大人はそれを守る義務がある。13年前、多くの中学生が全国でいじめを苦にして自らの命を絶つということが起こった。テレビなどでは「いじめは“0”にはならない」と言われたが、はたして本当にそうなのか。

いじめ問題を解決するためには、いじめを学校任せにせず、地域ぐるみで取り組むことが必要である。この事業では、そのための方法として、「スクール・バディ（中学生）」

「ユースリーダー（高校・大学生等）」「いじめ防止プログラムの指導者（成人）」と段階的に地域のコーディネーターとなる人材を養成する講座を行うとともに、多くの指導者が活動できるよう教材を開発した。

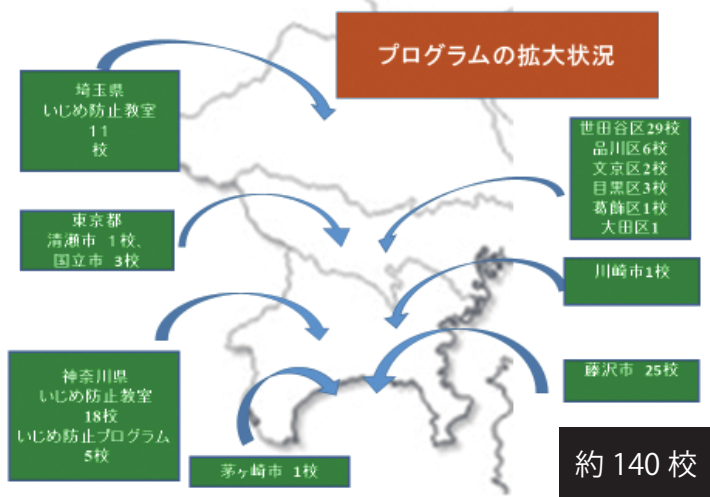


地域のコーディネーターとなる人材を養成

CHECK

事業の成果

『いじめ防止プログラム』（小中学校向け）、『デートングバイオレンス予防プログラム』（高校、大学向け）を作成し、神奈川県内で70校で事業を実施した。その成果は県内にとどまらず、関東地域では140校、さらに、沖縄県を除く全都道府県でもデートングバイオレンス予防指導者養成研修を実施した。



スクール・バディ（中学生）



スクールバディ・サミットの様子



プログラムの実施風景

協働部署からのコメント

湘南DVサポートセンターと県教育委員会とが協働し、いじめ防止という観点から学校でプログラムを実践するとともに、プログラムの指導者や、いじめ防止のために地域社会で役立つ人材を育成するための講座を行いました。この事業での成果を生かし、今後とも継続した連携を模索しながら、いじめ防止に取り組みます。

（教育局支援部子ども教育支援課）

COMMENT



瀧田 信之さん

湘南DVサポートセンター 理事長

○担当者からひとこと

今後の課題は、この事業で開発したプログラムが道徳授業で使われるようになることです。わたしたちは神奈川県から発信して全国に広げていく道を歩んでいます。

やはり神奈川県が大好きなので、神奈川県でしっかり根付いていくことを目指しています。

○団体プロフィール

特定非営利活動法人湘南DVサポートセンター
 設立：平成11年4月 代表者：理事長 瀧田 信之 住所：〒251-0044 藤沢市辻堂太平台2-2-3-102 団体活動紹介：いじめ防止プログラムの開発提供（約100校）、デートDV予防プログラムの開発、全国ユースリーダーの養成

○事業詳細

事業期間：平成24～28年度 総事業費（5年間）：24,130,000円 うち負担金交付額：22,521,000円